

試験問題(択一式) — $\left(\begin{array}{c} \text{英語} \\ \text{数学} \\ \text{国語} \end{array} \right) \begin{array}{l} \cdots 1 \sim 6 \text{ ページ} \\ \cdots 8 \sim 12 \text{ ページ} \\ \cdots 17 \sim 24 \text{ ページ} \end{array}$

受 験 地	受 験 番 号

受 験 心 得

1. この試験問題は、指示があるまで開かないこと。
2. 試験問題および解答用紙には、受験地、受験番号を忘れずに記入すること。
3. 問題数は、英語、数学それぞれ15題、国語は10題である。
4. 試験時間は、英語、数学、国語の3科目を合わせて、10時から11時30分までの90分間である。
5. 携帯電話等は、電源を切り、使用できない状態にすること。
6. 解答方法は次のとおりである。

各問題にはいくつかの答が示してある。そのうち、問題の解答として正しいと思うものを一つ選び、次の例にならって記入すること。

- ① (3)が正しい答と思うとき、解答用紙のその番号のところに、下のようにはっきりと×印を記入すること。

(1) (2) (3) (4) (5)
○ ○ ⊗ ○ ○

- ② (3)に×印をつけたあと、答を(5)に修正する場合には、下のように(3)をぬりつぶし、(5)にはっきりと×印をつけ直すこと。

(1) (2) (3) (4) (5)
○ ○ ● ○ ⊗

- ③ ぬりつぶした訂正箇所(3)が正しい答と思い直したときは、(5)をぬりつぶし、正しいと思う番号(3)の●の上にはっきりと大きな×印をつけ直すこと。

(1) (2) (3) (4) (5)
○ ○ ⊗ ○ ●

7. 解答に×印をつけないものや、二つ以上つけたものは、誤りと同じに取り扱う。
8. 試験時間中は、すべて試験係官の指示に従うこと。用便その他やむを得ない事情があるときは、黙って手をあげて試験係官に用件を話すこと。

試験問題(択一式) — 数 学

- 1 2つの関数 $f(x) = x^2 + x - 2$, $g(x) = x^2 + 6x + 4$ がある。 $f(x) \geq 0$ かつ $g(x) \leq 0$ を満たす x の最小値を α , 最大値を β , $f(x) \leq 0$ かつ $g(x) \leq 0$ を満たす x の最大値を γ とする。 $\frac{\beta - \alpha}{\gamma - \beta}$ はいくらか。

- (1) $\frac{1}{2} + \frac{\sqrt{5}}{2}$ (2) $\frac{3}{2} + \frac{\sqrt{5}}{2}$ (3) $\frac{1}{2} + \sqrt{5}$ (4) $\frac{3}{2} + \sqrt{5}$
- (5) 上の4つの答はどれも正しくない。

- 2 座標平面上の4点 $(1, 2)$, $(15, 65)$, $(1+a, 2-a)$, $(15+a, 65-a)$ を頂点とする平行四辺形がある。この平行四辺形の辺上に x 座標, y 座標がともに整数となる点がある20個あるような正の整数 a はいくらか。

- (1) 2 (2) 3 (3) 4 (4) 5
- (5) 上の4つの答はどれも正しくない。

- 3 全体集合を U とし, U の部分集合 A , B , C について各集合の要素の個数が $n(A) = 10$, $n(B) = 12$, $n(C) = 15$ であり, $n(A \cap B) = 8$, $n(B \cap C) = 7$, $n(C \cap A) = 5$ となっている。 $n(A \cap \bar{B} \cap \bar{C}) = a$, $n(\bar{A} \cap B \cap \bar{C}) = b$, $n(\bar{A} \cap \bar{B} \cap C) = c$, $d = a + b + c$ とすると, 取り得るすべての d の和はいくらか。

- (1) 25 (2) 27 (3) 29 (4) 31
- (5) 上の4つの答はどれも正しくない。

- 4 3つの箱 A, B, C と 1つの玉がある。玉はいずれかの箱に入っており、1回の移動でその玉を別の箱に移動する試行を考える。その際、玉が入っていない2つの箱に玉が移動する確率はそれぞれ $\frac{1}{2}$ である。最初に玉が A に入っているものとする。4回の移動で A, B, C すべての箱に玉が入ることになる確率はいくらか。ただし、移動を始める前に玉が A に入っていたことは含めずに考えるものとする。

(1) $\frac{3}{16}$ (2) $\frac{7}{16}$ (3) $\frac{11}{16}$ (4) $\frac{13}{16}$

(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

- 5 $x > 0$ として、関数 $f(x) = \left(2x + \frac{27}{x+1} + 2\right) \left(x + \frac{6}{x+1} + 1\right)$ の最小値を α 、最小値を与える x を β とする。このとき、 $\alpha + \beta$ はいくらか。

(1) 71 (2) 73 (3) 75 (4) 77

(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

- 6 $c = \frac{1}{1+4i} + \frac{1}{2+3i} + \frac{1}{3+2i} + \frac{1}{4+i}$ であるとき、 $|c - \bar{c}|$ はいくらか。ここで、 i は虚数単位である。

(1) $\frac{200}{221}$ (2) $\frac{250}{221}$ (3) $\frac{300}{221}$ (4) $\frac{350}{221}$

(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

7 円 $x^2 + y^2 = 5^2$ と直線 $x - 7y + 25 = 0$ の2つの交点を通る半径 $5\sqrt{2}$ の円は2つある。この2つの円が重なる部分の面積はいくらか。

(1) $\frac{25}{3}\pi - 25$ (2) $\frac{25}{2}\pi - 25\sqrt{2}$ (3) $\frac{50}{3}\pi - 25\sqrt{3}$ (4) $\frac{100}{3}\pi - 25\sqrt{3}$

(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

8 関数 $f(x) = \alpha + \sqrt{3} \sin \beta x + \cos \beta x$ (α, β は定数) が周期 3π の周期関数で、最大値が5であるとする。このとき、 $f(x) = 5$ となる $x (0 \leq x \leq 3\pi)$ を x_0 とすると、 $(\alpha + \beta) \times x_0$ はいくらか。

(1) $\frac{11}{6}\pi$ (2) $\frac{13}{6}\pi$ (3) $\frac{17}{6}\pi$ (4) $\frac{19}{6}\pi$

(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

9 $6^{\frac{1}{500}}$ の常用対数は1より小さく、小数表示したとき、小数第1位から n 位まで0が続き、 $n+1$ 位で初めて0以外の数字 k が現れる数である。このとき、 $n+k$ はいくらか。

(1) 3 (2) 4 (3) 5 (4) 6

(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

- 10 座標平面上の放物線 $y = x^2 - 4x + \frac{5}{2}$ の上にある 3 点 P_1, P_2, P_3 のすべてについて、その点における法線が点 $(2, 0)$ を通るものとする。このとき、 $\triangle P_1 P_2 P_3$ の面積はいくらか。

- (1) 1 (2) 2 (3) 3 (4) 4
 (5) 上の 4 つの答はどれも正しくない。

- 11 $\sum_{n=1}^{100} \left(\frac{1}{\sqrt{n-1} + \sqrt{n}} + \frac{1}{\sqrt{n} + \sqrt{n+1}} + \frac{1}{\sqrt{n-1} + \sqrt{n+1}} \right)$ を小数表示したとき、整数部分の値はいくらか。

- (1) 28 (2) 29 (3) 30 (4) 31
 (5) 上の 4 つの答はどれも正しくない。

- 12 座標平面上に原点 O と 2 点 A, B , および、 $|\overrightarrow{OA}| = 4$, $\overrightarrow{OP} = \overrightarrow{OA} + s\overrightarrow{OB}$ (s は実数) となる点 P が存在する。 s の関数である $|\overrightarrow{OP}|$ が $s = -3$ で最小値 2 をとるとき、 \overrightarrow{OA} と \overrightarrow{OB} のなす角 θ ($0 < \theta < \frac{\pi}{2}$) はいくらか。

- (1) $\frac{\pi}{6}$ (2) $\frac{\pi}{4}$ (3) $\frac{\pi}{3}$ (4) $\frac{2\pi}{5}$
 (5) 上の 4 つの答はどれも正しくない。

- 13** 座標空間内に点 $P(2, 2, -2)$ と直線 $l: (x, y, z) = (5, -2, 3) + s(-2, 2, 1)$ があり、 P の l に関して対称な点 P' がある。原点を O とし、 \overrightarrow{OP} と $\overrightarrow{OP'}$ のなす角を θ とすると、 $\cos \theta$ はいくらか。ただし、 s は実数である。

- (1) $-\frac{4\sqrt{10}}{15}$ (2) $-\frac{\sqrt{10}}{5}$ (3) $-\frac{2\sqrt{10}}{15}$ (4) $-\frac{\sqrt{10}}{15}$
- (5) 上の 4 つの答はどれも正しくない。

- 14** 座標平面上に点 $A(0, 3)$, $B(b, 0)$, $C(c, 0)$, $O(0, 0)$ がある。ただし、 $b < 0$, $c > 0$, $\angle BAO = 2\angle CAO$ である。 $\angle BAC = \theta$, $\triangle ABC$ の面積を S とすると、 $\lim_{\theta \rightarrow 0} \frac{S}{\theta}$ はいくらか。

- (1) $\frac{7}{2}$ (2) $\frac{9}{2}$ (3) $\frac{11}{2}$ (4) $\frac{13}{2}$
- (5) 上の 4 つの答はどれも正しくない。

- 15** 座標平面上の曲線 $y = \sqrt{x+4}$ と直線 $y = x+2$ と x 軸で囲まれる図形を y 軸の周りに 1 回転させてできた立体の体積はいくらか。

- (1) $\frac{57}{5}\pi$ (2) $\frac{62}{5}\pi$ (3) $\frac{67}{5}\pi$ (4) $\frac{72}{5}\pi$
- (5) 上の 4 つの答はどれも正しくない。